

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成 24年 8月 1日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ミニストップ株式会社 代表取締役社長 阿部 信行					
		電話 043-212-6471					
主たる業種	コンビニエンスストア(飲食料品を中心とするものに限る)						
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	平成 23年 4月から平成 26年 3月まで						
基本方針	1、排他抑制に向けた組織をつくり運用します。2、排他抑制に向けて意識向上を目的とした従業員教育を継続し、実行します。3、トップランナー方式による店舗内設備機器の積極的導入を図ります。4、加盟店、取引先、お客さま等の利害関係者と共に排他抑制に取り組めます。						
計画を推進するための体制	管理本部長を統括管理責任者に環境・社会貢献担当部署が事務局を勤め、社内のEMSの体制を推進する。2003年3月に取得したISO14001は2010年に返上して現在は自己適合宣言している。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	1,881.3 トン	1,970.0 トン	トン	トン	4.7 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	1,881.3 トン	1,970.0 トン	トン	トン	4.7 パーセント	
実績に対する自己評価		1店舗あたりの電力使用量は3.9%削減できましたが、期末の店舗数は3店舗増となり、年間総電力使用量は増加しました。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
		事業活動に伴う排出の量 (当年度平均稼働店舗数)	56.20	54.00			-3.92 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
実績に対する自己評価		機器の運用管理と節電意識の高まりで固店の対応ができたものと考えます。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		14.0 パーセント	14.0 パーセント	パーセント	パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	設備機器の運用管理と店舗内照明のLED化推進					
	(24)年度						
	(25)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えるために実施した措置	措置の内容	特になし					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	特に実施した処置はありません。今後については検討いたします。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動							
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。